

福山地区農業集落排水施設機能診断業務委託

〔1〕 一般仕様書

第1章 総 則

1.1 業務の目的

本委託業務（以下「業務」という。）は、発注者において、福山地区農業集落排水施設機能診断業務を実施することを目的とする。

1.2 一般仕様書の適用範囲

業務は、魚沼市委託契約条項（令和4年魚沼市告示第159号。）及び本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

1.3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1.4 法令等の遵守

受注者は、業務の実施に当たり、関連する法令等を遵守しなければならない。

1.5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を堅持するように努めなければならない。

1.6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

1.7 公益確保の責務

受注者は、業務を行うに当たっては公益の安全、環境その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

1.8 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了に当たって発注者の契約約款に定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

- (イ) 着手届 (ロ) 工程表 (ハ) 管理技術者届 (ニ) 職務分担表
- (ホ) 完了届 (ヘ) 納品書 (ト) 業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承諾を受けるものとする。

1.9 管理技術者及び技術者

- (1) 受注者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。
- (2) 受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1.10 工程管理

受注者は、工程に変更が生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1.11 打ち合わせ等

業務等を適正かつ円滑に実施するため、管理技術者と監督員は常に密接な連絡をとり、業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容についてはその都度受注者が書面（打合せ記録簿）に記録し、相互に確認しなければならない。なお、連絡は積極的に電子メール等を活用し、電子メールで確認した内容については、必要に応じて書面（打合せ記録簿）を作成するものとする。管理技術者は、仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議するものとする。

1.12 業務計画書

受注者は、契約締結後14日（休日等を含む）以内に業務計画書を作成し、監督員に提出しなければならない。業務計画書には、契約図書に基づき下記事項を記載するものとする。

（1）業務概要（2）実施方針（3）業務工程（4）業務組織計画（5）打合せ計画（6）成果物の品質を確保するための計画（7）成果物の内容、部数（8）使用する主な図書及び基準（9）連絡体制（緊急時含む）（10）その他

1.13 成果品の審査及び納品

- （1） 受注者は、成果品完成後に発注者の審査を受けなければならない。
- （2） 成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。
- （3） 業務の審査に合格後、成果品一式を納品し、発注者の検査員の検査をもって、業務の完了とする。
- （4） 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

1.14 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1.15 参考資料の貸与

発注者は、業務に必要な関係資料等を所定の手続きによって貸与する。

1.16 参考文献等の明記

業務に文献その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記するものとする。

1.17 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

1.18 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、発注者、受注者の協議によるものとする。

第2章 計画

2.1 一般的事項

受注者は、調査及び計画について十分な検討を加えるとともに問題点及び疑義等が生じたときは遅滞なく打合せを行うものとする。

2.2 業務の手順

- （1） 業務は、十分協議打合せの後施行するものとする。
- （2） 管理技術者は、主要な打合せには必ず出席しなければならない。
- （3） 打合せには議事録をとり、内容を明確にして提出しなければならない。

2.3 調査及び計画

受注者は、発注者より提供した資料、受注者の調査収集した資料及び関係者の打合せ結果等を十分検討した後、図書を作成するものとする。

2.4 まとめと照査

作業項目における方針の確定・確認並びに作業内容の照査を行う。

〔2〕 特記仕様書

1. 業務概要

- (1) 履行場所：魚沼市福山新田地内
- (3) 計画人口：250 人（該当集落：福山新田）
- (4) 処理方式：連続流入間欠ばっ気方式（JARUS-XIV型）
- (5) 業務内容

機能診断調査 ----- 1 処理区（福山処理区）

1) 機能診断調査業務

管路施設（人孔）、中継ポンプ機能診断業務及び処理施設機能診断業務

- ① 事前調査
- ② 現地調査

2) 機能診断設計業務

管路施設（人孔）、中継ポンプ機能診断業務及び処理施設機能診断業務

- ① 現地調査
- ② 機能診断評価
- ③ 点検とりまとめ
- ④ 打ち合わせ

機能診断の実施は、別紙「農業集落排水処理施設の機能診断内容」による。

2. 使用するおもな図書及び基準類

1) 使用するおもな基準類

名 称	発行所名
農業集落排水施設のコンクリート劣化点検・診断・補修の手引き（案）	日本集落排水協会
農業集落排水協会型施設機器等標準仕様（案）	日本集落排水協会
農業集落排水のコンクリート防食設計・施工の手引き（設計編・施工編）	地域資源循環技術センター
農業集落排水施設施工指針 汚水処理施設編	農業集落排水事業諸基準等作成 全国検討委員会
農業集落排水施設施工指針 管路施設編	農業集落排水事業諸基準等作成 全国検討委員会
農業集落排水施設におけるストックマネジメントの手引き	地域資源循環技術センター
農業集落排水施設におけるストックマネジメントを実践するための機能診断調査要領（案）	地域資源循環技術センター
農業集落排水施設におけるストックマネジメントを実践するための機能診断調査票様式（案）	地域資源循環技術センター
農業集落排水施設におけるストックマネジメントを実践するための最適整備構想作成要領（案）	地域資源循環技術センター

2) 貸与資料

処理場の性能評定申込資料

処理場、管路施設及び中継ポンプの実施設計報告書

処理場、管路施設及び中継ポンプの完成図書

地質調査報告書

集落排水施設維持管理及び保守点検の情報

3. 打合せ

第1回 機能診断調査開始前

第2回 機能診断評価作成後

第3回 成果品提出前

4. 成果品

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 業務報告書 | 2 部 |
| (2) その他参考図書 | 1 式 |
| (3) 打合せ議事録 | 1 式 |
| (4) 電子成果品（図面等のオリジナルデータ含む） | 1 式 |

5. その他

- (1) 調査のための現地立ち入りに当たっては、監督員および関係者に連絡をとり円滑に作業が実施できるよう
つとめることとする。また、処理場内調査においては維持管理業者と適宜連絡調整を行うこととする。
- (2) その他不明な点や必要な事項については、監督員と協議し決定するものとする。

集落排水処理施設の機能診断内容

調査箇所及び調査対象機器は、別紙「調査項目一覧」の通りとする。

処理場内の機器の診断は、基本的には処理施設内の機械電気設備、配管等全般とするが、主に別紙主要機器一覧表の機器を詳細調査するものとする。

なお、管路施設（人孔）の機能診断調査箇所は 20 箇所程度とする。

機能診断の作業内容は下記の通りとする。

1. 管路施設（人孔）診断調査

人孔目視調査（浸入水、ひび割れ、腐食、脆弱化、土砂堆積）

蓋目視調査（表面、裏面の状況、蓋のがたつき、調整リングの状況）

2. 中継ポンプ診断調査

中継ポンプ引き上げ・洗浄

目視調査

機器の動作確認調査

電流値の調査

絶縁抵抗値の調査

ポンプの羽根車の調査

写真整理帳の作成

機器の診断

3. 処理場機械・電気設備診断調査

目視調査

機器の動作確認調査

発熱調査

異常音・異常振動調査

電流値の調査

絶縁抵抗値の調査

ポンプの羽根車の調査

写真整理帳の作成

機器の診断

4. 処理場水槽コンクリート診断調査

目視調査

防食被覆の調査

腐食環境調査

コンクリート劣化調査

中性化試験